

明日は開校記念日！

1977(昭和52)年6月7日、むらすぎ荘で秋田県立仁賀保高等学校開校式が行われました。校舎が未完成のため、4月12日、旧平沢中学校の仮校舎で入学式が挙行され、第1期生が現在の校舎で高校生活をスタートさせたのは11月10日、眼前の鳥海山には、新雪が眩しいくらいに輝きを放つほどの快晴の日、と秋田魁新報が伝えています。

(創立10周年記念誌より)

6月7日の開校式をもって開校記念日が誕生し、43回目の日を迎えようとしています。昭和52年当時、私は中学3年生でした。今この瞬間、生徒のみなさんよりも若い自分を想像しながら、青春時代を回想しています。みなさんには、明日が単なる休日ではないことを意識してほしいと思います。

生徒のみなさんには、この機会に仁賀保高校の歴史を学んでください。今はネット環境が充実していますので、パソコンやスマホ等を活用して調べてみましょう。また、みなさんが持っている生徒手帳の6ページには「学校の沿革」、7ページには「部活動の記録」が載っています。このページを見直すことで、仁賀保高校の歩んできた道がわかります。

明日を入れて3連休となりますが、母校の歴史を知ること、母校愛を醸成してほしいと願っています。

参考資料 創立10周年記念誌(昭和62年)から抜粋

(1) 「よりよき伝統の継承を」生徒会長 西村春彦さんの文章から

(前略) 昨年、今年の十周年記念文化祭のために方々の文化祭を見学に行きました。その中で我が仁賀保高校の弟分(我が校創立後に創立された)にあたる秋田西高校や新屋高校にも行って来ました。その時、私はこう思いました。「校舎は新しくモダンではあるが、仁賀保高校の方がきれいだ。」(中略) 我が校では毎日放課後の清掃に力を入れておりますので床も光っています。また、隅々にもほうきを入れています。(後略)

日々の清掃活動を通して、校内外をきれいにし、公共心を身につけていた先輩方の様子がよくわかります。私は、在校生のみなさんの清掃活動に感心しています。仁賀保高校の良き伝統が生きている証拠です。

(2) 記念誌の中にあつた「電気暖房」の記事

この校舎の暖房は、当時としては画期的な設備でした。県内初の「電気暖房」設備の導入です。

みなさんは当たり前と思っている事でも、時代の先端設備の導入があつたことを考え、伝統を育んできた校舎を大切に使いましょう。

仁賀保高校のホームページが新しくなりました！

6月からホームページが新しくなりました。情報の発信力を高め、これまで以上に本校を理解してもらえような情報を沢山発信していきます。アイコンタクトのロゴマークも校内やホームページに掲載しています。生徒・保護者のみなさん、是非ご覧ください。

仁賀保生に贈るファイブスター 5つ星

- ★ アイコンタクト (i c o n t a c t) を心がけてください。目と目で通じ合うのみならず、「よく考えて行動する」という意味を理解して活動しましょう。
- ★ メモ をとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。
- ★ 意識力 = 意思・意志(瞬間) + 気力(持続) です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。
- ★ G T H は、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。
- ★ 「自己有用感」 を高めてください。そのためにあなたはなに挑戦しますか？

